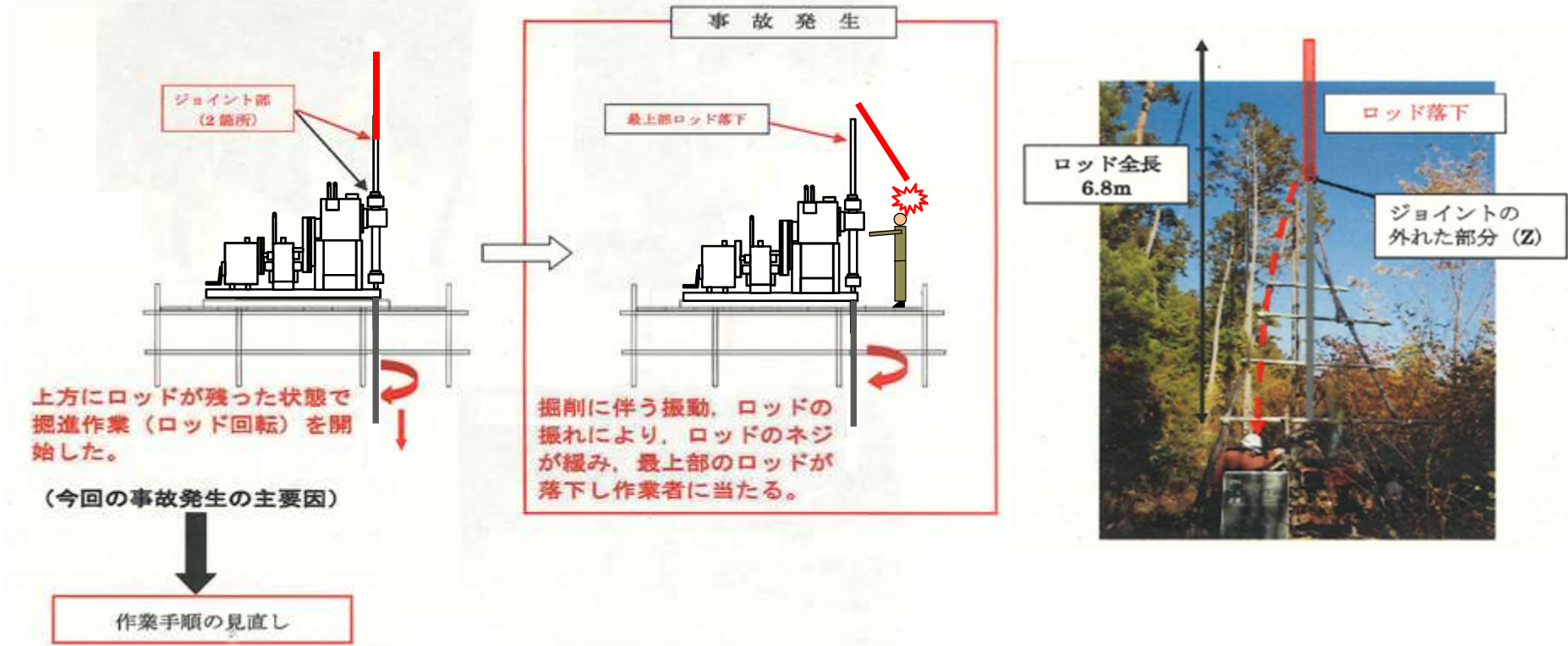


# 平成23年度に建設工事で発生した事故事例（飛来物・落下物による事故）

**事故概要：**  
地質ボーリングの掘進作業中に作業員の上部にあったボーリングロッドのジョイント部が掘進部の振動により外れ、ロッドが落下し、作業員のヘルメットを直撃した。

**事故原因：**  
スピンドル上部に接合部を含んだロッドを立ち上げた状態でスピンドルを回転させた

**改善対策：**  
掘進作業時にはスピンドル上部にロッドの接合部を設けないようにする



分類：調査業務、ボーリング

被害状況：1週間の加療(頭部外傷1型 頭部割創)

## 平成27年度に建設工事で発生した事故事例（地下埋設物損傷事故）

### 事故概要:

地質調査(ボーリング調査)中に、GL-0.7m程度まで掘削してコアチューブを引き上げたところ、掘削孔より水が噴き出したため確認したところ、地中GL-0.25m程度に存在したVU管(φ200)を損傷させたことが判明した

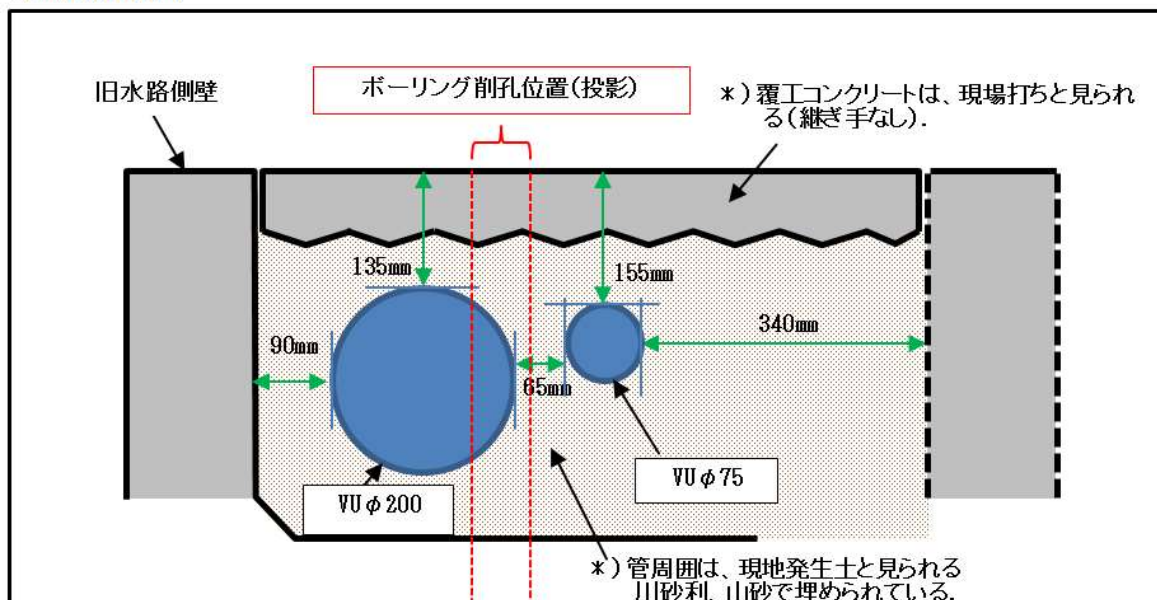
### 事故原因:

- ・既知の管以外の情報提供や調査指示をしていなかった
- ・聞き取り調査や試掘等の確認作業を怠った

### 改善対策:

- ・情報提供や確認指示の徹底
- ・聞き取り調査や試掘等安全対策の徹底

水路断面図



分類: 調査業務、ボーリング

被害状況: 4世帯復旧作業時の断水

## 平成29年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

### 【事故概要】

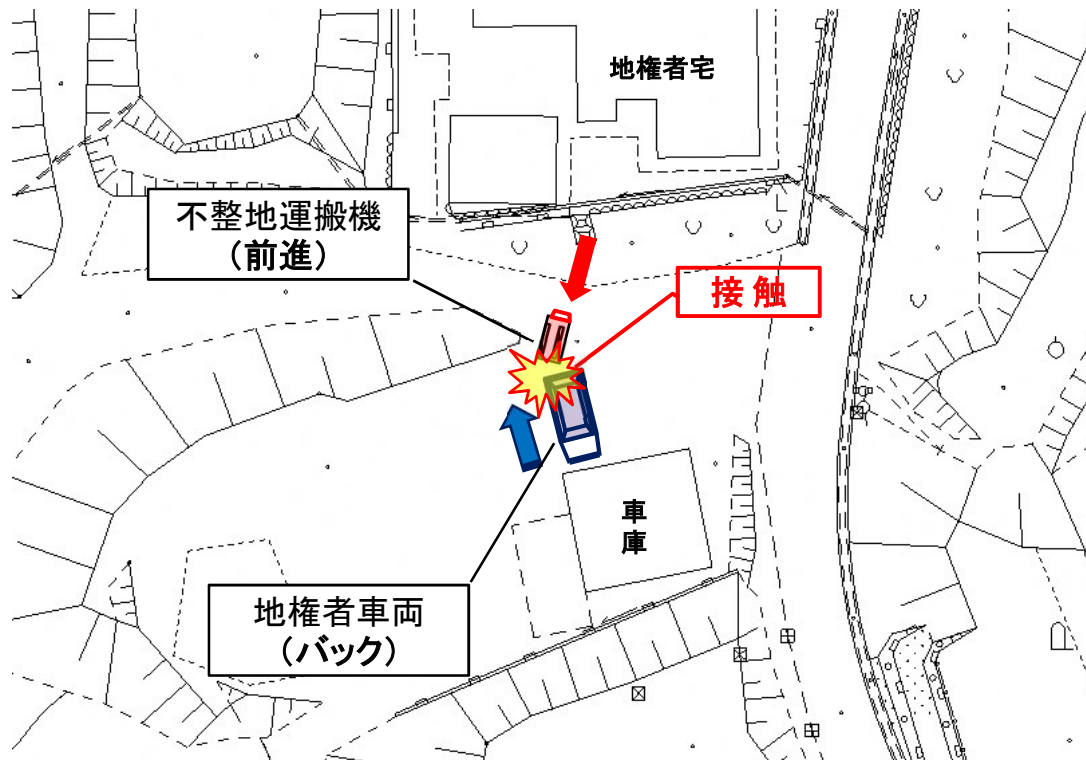
ボーリング調査地点を移動するため、土地を借用していた地権者の敷地内を不整地運搬機で資機材の運搬を行っていた。資機材を積込むため不整地運搬機を前進させていたところ、敷地内の車庫からバックで出庫してきた地権者車両と接触し、地権者車両のリアバンパーを損傷させた。

### 【事故原因】

- ・不整地運搬機操作者の周辺の確認不足、特に前方状況の確認不足
- ・不整地運搬機操作者は、公道ではないため、車が来ることなど無いだろうと思い込み、危険を予知せず運搬機操作を行った

### 【改善対策】

- ・車両通行がある場所では、誘導者を配置
- ・右左折時の一時停止と安全確認、操作前に周辺の障害物の有無を確認
- ・操作者と誘導員の声掛け作業の実施
- ・車両の出入りの可能性がある場所には、セフティコーンを設置し注意喚起を行う



分類: 調査業務、ボーリング

被害状況: 通行車両1台損傷

## 令和元年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物）

### 【事故概要】

地質調査において、ボーリング作業していた際、地下埋設物の上水道管φ100を破損した。

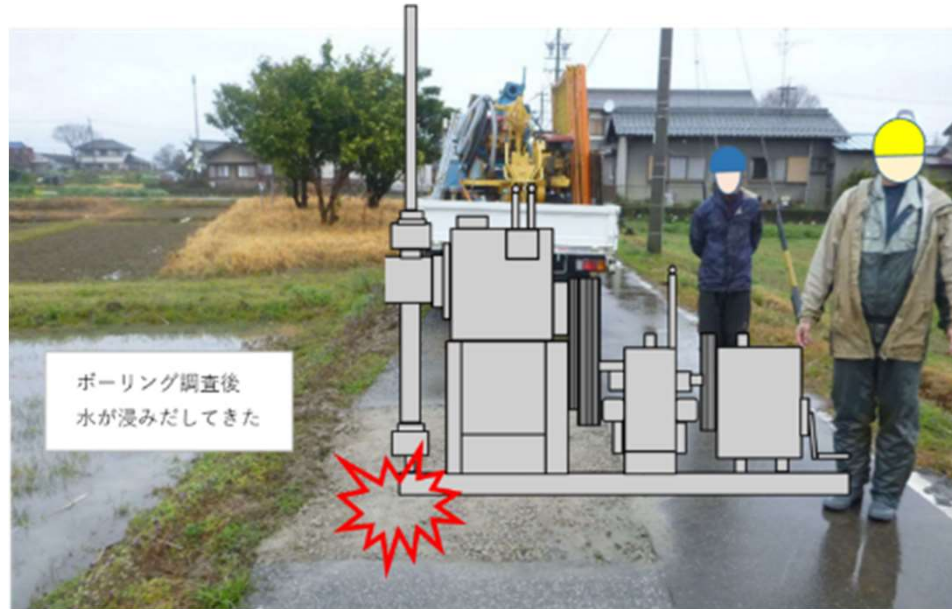
### 【事故原因】

- ・現地で下水道管の存在は把握していたが、他の埋設管について、管理者等関係者への確認を怠った。
- ・ボーリング屈伸作業時に、硬いものに当たったにもかかわらず、確認しないまま掘削を続けたため水道管を破損した。

### 【改善対策】

- ・地下埋設物事故防止マニュアルにより、事前確認及び管理者の立会の下調査を行う。
- ・地質調査の作業計画書提出時に、地下埋設物チェックリストにより確認し、これを添付する。

事故現場写真



損傷した水道管



【分類】 調査業務 調査中

【被害状況】 上水道管φ100破損（断水11戸 2.5時間）

## 令和2年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材）

### 【事故概要】

地質調査において、ボーリング作業していた際、ケーシングヘッドを着脱しようとしたところ、ケーシングヘッドに添えていた手の上に、ロッドが落下し負傷した。

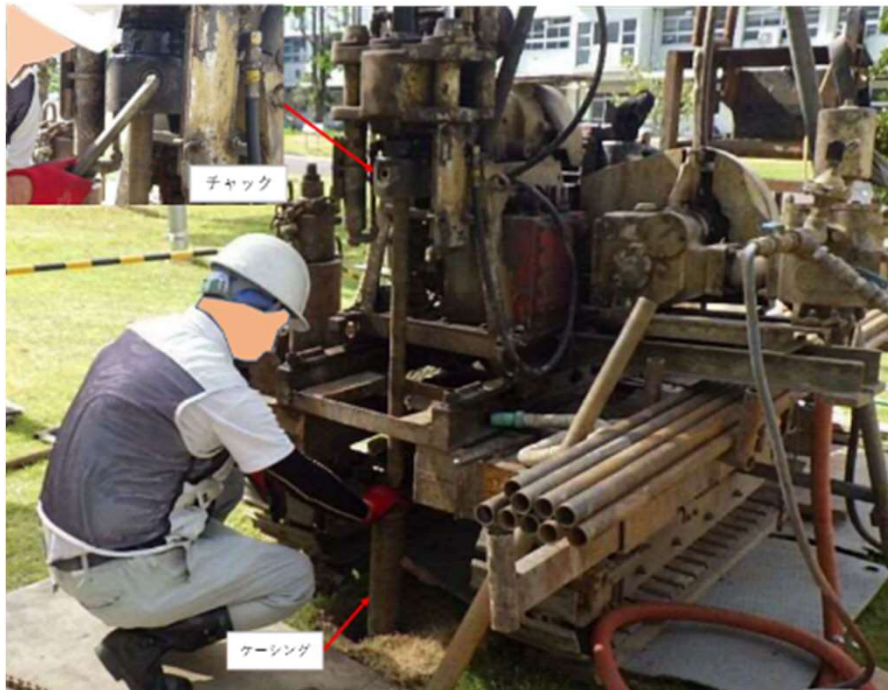
### 【事故原因】

- ・ロッドのチャックの固定が甘く、作業の振動で固定が緩み、ロッドが落下した。
- ・作業の慣れによる油断があった。

### 【改善対策】

- ・作業前のKY活動等で、過去の事故事例を参考として、作業の安全確保について十分な確認を行う。
- ・器具の取り扱いに係る注意喚起のシールを該当箇所に貼り、注意力が落ちないようにする。

事故現場写真



落下状況



【分類】 調査業務 調査中

【被害状況】 業者人身（右手中指基節骨近位部骨折）

## 令和4年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材事故）

### 【事故概要】

ボーリング作業中、パイプレンチを持ちながら移動した際に、ボーリングマシンのロッドにパイプレンチが接触しそのまま噛み込み回転してしまい、パイプレンチを握っていた手が柄と足場の筋交パイプに挟まれる形となり、右手薬指を負傷した。

### 【事故原因】

- ・ロッド周辺を工具置き場としていたこと。
- ・ロッド周辺のクリアランスが不足していたこと。
- ・ロッドの回転中に作業員がロッドに近づいてしまったこと。

### 【改善対策】

- ・回転部において作業クリアランスを確保する。
- ・ロッド周辺を工具置き場としない。
- ・ロッド等の回転部に保護カバーを設置する。
- ・ロッド等の回転中は、回転部には接近しない。
- ・動力源をニュートラルにしてから作業に当たる。
- ・作業開始は、オペレータがニュートラルを確認し、作業員へ合図する。
- ・作業員は、その合図を確認してから作業に当たる。
- ・作業時は、軍手等ではなく、皮手袋着用する。

### 事故現場状況



置いてあった工具を取ろうとしたところ、回転するロッドに工具が接触し噛み込み回転、単管と工具に指が挟まれた

【分類】 調査業務 ボーリング

【被害状況】 業者人身 30歳 右環指開放骨折